

2025年2月 日

町田市教育委員会
教育長 小池 慎一郎 様



町田市文化財保護審議会
会長 浜田 弘明

町田市登録有形民俗文化財の登録について（答申）

2024年12月23日付け24町教生総第392号で諮問のありました町田市登録有形民俗文化財の登録につきましては、町田市文化財保護審議会において審議いたしました結果、下記のとおり町田市文化財保護条例第37条第1項（3）に規定する町田市登録有形民俗文化財に該当する旨、決しましたので答申します。

記

- ・登録候補名 成瀬の天狗型道祖神（3基）
- ・登録基準 町田市文化財指定・登録基準第2-3-（1）に該当するため。

なお、概要および指定調書については別添のとおりです。

(概要)

2024年度 町田市登録有形民俗文化財候補〔答申〕

- | | |
|----------|--|
| 1) 種 別 | 町田市登録有形民俗文化財 |
| 2) 名 称 | 成瀬の天狗型道祖神 (3基) |
| 3) 所 有 者 | 不詳 |
| 4) 概 要 | 成瀬地区に存在する1700年代に造塔された正面に天狗の像容を配した3基の単体像道祖神塔です。 |

『新編武蔵風土記稿』成瀬村の項に本山修験の五大院があったとの記述などからは、近隣に修験者の存在を窺い知ることができ、修験との関連性は深いものと推察され、3基の天狗型の道祖神塔が同地区内に存在することからは、成瀬地区に固有の道祖神信仰があったことがうかがい知れます。

天狗の像容が刻まれた道祖神塔は全国でも他に例がなく、さらにそれらが3基同一地区に存在していることは、たいへん希少性が高く文化的価値が高いといえます。

また、2015年度から2018年度に市教育委員会が実施した市内石造物の調査によると、市域内に存在する道祖神は34基で、そのうち1700年代に造塔されたと考えられる単体像は本件の3基を含め6基のみであり、本件の3基の道祖神は、市内に残存する1700年代前半に造塔された時代の古い単体像の道祖神塔としても貴重なものであるといえます。

以上のことから、成瀬の天狗型道祖神塔 (3基) は、町田市固有の地域の歴史、文化を理解する上で、また全国的に見ても、石造物としての文化財的価値が高いものとして、保護・保存するに値するものであるといえます。